新潟大学　人を対象とする研究等倫理審査委員会　オプトアウト書式

①研究課題名	膵全摘術後のQOLの評価と治療成績（多施設共同研究）
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
2000年1月～2015年12月に新潟大学医歯学総合病院　消化器・一般外科において、膵全摘術を受けられた患者さん。	
③概要	
膵全摘術後の短期成績、遠隔成績や術後QOLの評価を行い、膵全摘術の臨床的意義を明らかにするため、新潟県内の多施設共同研究によるデータ集計に症例を登録します。 本研究により、膵全摘術の臨床的意義が明らかとなり、この結果に基づいて膵全摘術の治療に反映することで、患者のQOLの改善と予後の向上が期待されます。	
④申請番号	2015-2669
⑤研究の目的・意義	膵全摘術の臨床的意義が明らかとし、この結果を膵全摘術の治療に反映することで、患者さんのQOLの改善と予後の向上に寄与することを目的とします。
⑥研究期間	平成28年10月倫理委員会承認後 ～ 令和８年3月31日
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	電子カルテに保存されている病歴、血液検査結果、画像検査結果、手術所見、病理所見、術後の血糖管理・体重変化、予後等を利用します。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	病歴、血液検査結果、画像検査結果、手術所見、病理所見、術後の血糖管理・体重変化、予後等
⑨利用の範囲	新潟大学大学院　消化器・一般外科
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学大学院　消化器・一般外科　教授　若井俊文
⑪お問い合わせ先	新潟大学大学院　消化器・一般外科　坂田　純 Tel：025-227-2228 E-mail：jsakata2@med.niigata-u.ac.jp